

| | | | |
|----------|-----------|----|------|
| 利用ソフトウェア | WinSCP | | |
| 授業名 | ネットワーク情報論 | 名前 | 土橋 喜 |

1. WinSCPと通信の暗号化

WinSCPはMartin Prikrylによって開発されたファイル転送のクライアントプログラムです。Windows上で動作し、sftpやscpが使えます[1]。

ftpはインターネットの初期の段階で開発されたファイル転送ソフトですが、送受信するデータの暗号化が行われておらず、ネットワーク上にパスワードなどが読める形で流されるなど、セキュリティ対策上問題を起こしやすいことが指摘されています。そのため暗号化対策を施してより

セキュリティを高めたsftpやscpがftpの代わりに使われています。

sftpやscpはSSHによって暗号化された通信路上で動作するもので、ftpと似たように動作し、公開鍵認証などSSHの多くの機能を使うことができます。

2. WinSCPとGUI

WinSCPはsftpやscpの機能にGUIを加えたもので、コマンドを入力するよりもより使いやすくなっています(図1)。

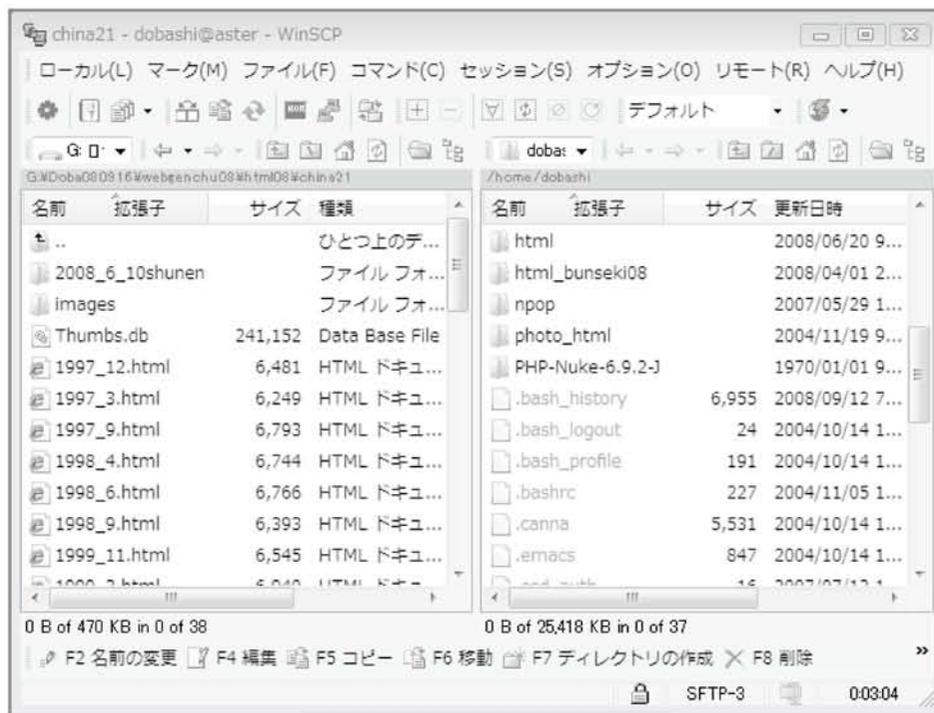


図1: WinSCPの動作画面

ファイルのダウンロードやアップロードがコピーと貼り付けや、左右の画面上のドラッグだけで簡単にできます。さらにサーバ側とクライアント側のディレクトリの移動もボタンをクリックするだけで可能です。ファイルやフォルダの名前の変更、削除、追加なども自由にできます。加えてファイルやフォルダのプロパティの変更がGUIの操作だけで行うことができます。

WinSCPを使うとウェブページを更新するときのファイル転送などが大変やりやすくなります。

3. インストールと設定

WinSCPのinstallation packageをダウンロードしてインストールします。インストールが正常に終了するとWinSCPのアイコンが表示され、それをクリックして設定画面を開きます。

WinSCPを使うためには、ホスト名、ポート番号、ユーザ名、パスワードを設定する必要があります。これらを設定する



図2：セッションの設定画面

とパスワード認証でサーバにログインできるようにになります(図2)。

また保存をクリックすると、設定情報が記録され、次回から入力しなくても済みます。



図3：保存されたセッション

またよりセキュリティの高い公開鍵認証でログインする場合は、パスワードの代わりに秘密鍵の欄に秘密鍵のある場所を指定します。秘密鍵を使うためにはPuTTYgenなどで事前に秘密鍵と公開鍵を作成して接続先のサーバ上に公開鍵を登録しておく必要があります[2][3]。

最初にサーバに接続するときは、信頼してよいかどうかの確認画面が開きますが、次からは確認が表示されなくなります。

[1] WinSCP: Martin Prikryl,

<http://winscp.net/eng/index.php>

[2] WinSCPの利用について

<http://www.cc.tsukuba.ac.jp/WinSCP/>

[3] PuTTYgenの利用について

<http://www.cc.tsukuba.ac.jp/WinSCP/>

PuTTYgen/